

研究課題名	感染症における原因微生物と血中 DNA の関連性に関する研究 —多項目デジタル PCR による菌血症診断に関する研究—
研究期間	2026 年 1 月 26 日 ~ 2028 年 3 月 31 日
研究の対象	2008 年 1 月から 2027 年 3 月の間に、広島大学病院において診療を受けた患者さんのうち、各種培養や核酸検査により微生物が検出された患者さん。
研究の目的・方法	研究目的：本研究は、広島大学病院において、血液培養によって同定された微生物を核酸増幅検査によって同定する手法を検討することにより迅速な診断に結びつけるための研究です。 研究の方法：本研究は通常の診療過程で提出された血液培養検体の中から、対象となる微生物が同定された患者さんの診療情報を診療録(カルテ)から転記します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：培養同定検査結果、薬剤感受性検査結果、年齢、性別、感染巣、敗血症性ショックの有無、ICU 入室の有無、30 日予後 試料：血液培養検体および血液検査の残検体 試料・情報の管理責任者：広島大学病院 感染症科 教授 大毛宏喜
利用または提供を開始する予定日	2026 年 1 月 26 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	研究に用いる試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院 感染症科 教授 大毛宏喜 共同研究機関 サーモフィッシャーサイエンティフィックライフテクノロジーズジャパン株式会社 遺伝子解析ソリューション事業部 事業部長 角田 晃昭
その他	本研究に用いられた試料・情報は、将来、感染症診療の向上に資する研究に用いられる可能性があります。その際は、本学 HP (http://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx) へ研究概要を掲載し、拒否の機会を保障します。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による

不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 感染症科

担当者：講師 北川浩樹

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-1613